

# 公益社団法人都市住宅学会・2020年度事業報告

(2020年4月1日より2021年3月31日まで)

## 1. 総会の開催

(本部)	
2020年度通常総会を開催	5月27日
(東北支部)	
2020年度通常総会を開催	5月11日
(関東支部)	
2020年度通常総会を開催	4月14日
(中部支部)	
2020年度通常総会を開催	4月18日
(関西支部)	
2020年度通常総会を開催	4月18日
(中国・四国支部)	
2020年度通常総会を開催	4月18日
(九州支部)	
2020年度通常総会を開催	4月11日

## 2. 理事会及び常務理事会の開催

### ・理事会 5回開催

第1回・第2回理事会	2020年5月27日
第3回理事会	2020年9月25日
第4回理事会	2020年11月28日
第5回理事会	2021年3月5日

### ・常務理事会 5回開催

第1回常務理事会	2020年5月14日
第2回常務理事会	2020年7月22日
第3回常務理事会	2020年9月25日
第4回常務理事会	2020年11月6日
第5回常務理事会	2021年1月15日

## 3. 都市住宅学会賞等の選考

学会賞委員会により、論文賞、論説賞及び研究奨励賞、著作賞の選考を実施

## 4. 学会誌の発行

・学会誌「都市住宅学」を4回発行	
2020年度春号（第109号）	2020年4月30日発行
2020年度夏号（第110号）	2020年7月31日発行
2020年度秋号（第111号）	2020年10月31日発行
2020年度冬号（第112号）	2021年1月31日発行

## 5. 第28回学術講演会の開催

### ・都市住宅学会第28回学術講演会を次のとおり開催

- (1) 日時：2020年11月28日、29日
- (2) 場所：関西支部 WEB 開催
- (3) 内容：研究発表（14題）、メインシンポジウム、ワークショップ

## 6. 本部及び各支部によるシンポジウム等開催

### (本部)

#### ・公開市民フォーラム

2020年10月14日 WEB (Zoomウェビナー)  
「水害に強い住宅の普及をめぐる状況と課題」

#### ・学生論文コンテスト

(卒業論文・修士論文部門)

2021年3月17日 WEB (Zoom)

(博士論文部門) 開催

2021年3月24日 WEB (Zoom)

#### ・交流研究会

石垣・石垣周辺離島・与那国

2021年3月13日～3月17日

### (東北支部)

#### 公開シンポジウム

2021年3月6日

「共助の見守りと孤立を防ぐコミュニティ」（主催：認定NPO法人つながりデザインセンター）に係る後援

2021年3月14日

「荒浜記憶の承継みらい会議」（主催：今野不動産㈱、認定NPO法人つながりデザインセンター）に係る後援

### (関東支部)

#### ・講演会

2020年4月14日

「住宅研究・NPO実践の地方創生への活かし方」

講師：鈴木 雅之氏（千葉大学国際教養学部准教授）

#### ・第3回学生懸賞未来社会エッセイコンテスト

テーマ「私たちが本当に暮らしたいまちと住まい」

(1) 大学生部門

(2) 大学院生部門

応募期間：2020年9月30日～2021年1月8日

### (中部支部)

#### ・勉強会

2020年12月2日

「錦二丁目エリアマネジメントについて」

講師：名畑恵氏（錦二丁目エリアマネジメント㈱ 代表取締役）、森田紘圭氏（同社 企画マネージャー）  
(参加者：11名)

#### ・研究交流会

2021年2月9日

「『なごやの住宅と住宅地』刊行報告会」

講師：海道清信氏（名城大学 名誉教授）、松山明氏（中部大学）、岡田昌樹氏（愛知県公営住宅課）、山内和明

氏（名古屋市住宅企画課）、長安圭治氏（（独）都市再生機構中部支社）、石田富男氏（（株）都市研究所スペーシア）、尾崎智央氏（高藏寺ニュータウンセンター開発（株））、高井宏之氏（名城大学）、川野紀江氏（桜山女学園大学）、毛利志保氏（日本福祉大学）

（参加者：20名）

・講演会

2021年3月19日

「木造住宅の耐震改修をどう推進するのか？～耐震リフォーム達人塾の取組を踏まえて～」

講師：川端寛文氏（NPO 法人達人塾ねっと理事長、名古屋工業大学高度防災工学研究センター 客員教授）

（参加者：14名）

（関西支部）

・見学会

日時：2020年12月10日

場所：千里竹見台、新千里東町建替え団地視察＋意見交換

（参加者9名：UR含む）

日時：2020年12月22日

場所：大正区千島団地、大正ヨリドコメイキン

（参加者7名：UR含む）

（中国・四国支部）

・オンラインシンポジウム

2020年10月10日

テーマ：『創造的過疎』による持続可能な地域づくり

講師：竹内和啓氏（認定NPO法人グリーンバレー事務局長）

伊藤友宏氏（認定NPO法人グリーンバレー移住担当）

（参加者28名）

（九州支部）

・都市住宅学会九州支部優秀学生賞（学生表彰事業）

募集期間：2021年2月17日～2月26日

## 7. 学術的研究活動の活性化

学際的研究活動をさらに活性化するため、都市住宅研究センターにおける自主研究を実施するとともに、各支部における会員増の促進を図ること等を通じて各支部活動の支援を行った。

## 8. 関係学会等との連絡等

都市住宅に関する学術的研究の進捗普及を図るため、内外の関係学会等との連絡及び協力を行った。

本年度も「学術交流に関する覚書」を締結した韓国住居学会との交流を継続した。

## 9. 調査研究の受託について

昨年度に引き続き、都市住宅学関連の諸団体からの調査受託を行い、各調査委員会を設置して調査研究を実施した。

## 10. 本部及び各支部による委員会等活動

（本部）

・総務企画委員会（3回開催）

第142回 2020年5月14日（Zoom）

第143回 2020年7月22日（Zoom）

第144回 2021年1月27日（Zoom）

・編集委員会（2回開催）

第139回 2020年10月22日（Zoom）

第140回 2021年2月1日（Zoom）

・学会賞委員会（4回開催）

第84回 2020年7月28日（Zoom）

第85回 2020年8月21日（Zoom）

第86回 2020年9月11日（Zoom）

第87回 2020年11月20日（Zoom）

・業績賞委員会（2回開催）

第29回 2020年4月8日（Zoom）

第30回 2021年2月24日（Zoom）

（東北支部）

・東北支部 常議員会（1回開催）

第1回常議員会 2020年5月11日

（関東支部）

・関東支部 常議員会（4回開催）

第1回常議員会 2020年7月29日（Zoom）

第2回常議員会 2020年9月18日（Zoom）

第3回常議員会 2020年12月17日（Zoom）

第4回常議員会 2021年2月10日（Zoom）

（中部支部）

・中部支部 常議員会（2回開催）

第1回常議員会 2020年4月18日

第2回常議員会 2021年2月9日（Zoom）

・中部支部 幹事会（5回開催）

第1回幹事会 2020年5月17日（メール）

第2回幹事会 2020年6月23日（Zoom）

第3回幹事会 2020年7月27日（Zoom）

第4回幹事会 2020年9月24日（Zoom）

第5回幹事会 2020年12月2日

・住宅市場研究会

（1）郊外住宅地部会

【委員：海道清信（部会長）、河崎典夫、村上心、

浦山益郎】

<（可児市）桜ヶ丘ハイツにおけるまちづくり活動>

①桜ヶ丘ハイツ・櫻ヶ丘内に太陽光発電施設（敷地4.8ha、発電量2.0Mw、パネル6,800枚の建設をめぐって、10項目の協定書を2018年4月に締結。その後、桜ヶ丘ハイツ自治連合会の中に作られた太陽光発電対策専門委員会と事業者、学識者や市も加わり、17項目の協定書を2019年10月末日に事業者と自治連が締結しました。同専門委員会において、10市の条例を比較検討しながら話し合いを積み重

ね、2020年2月に「可児市太陽光発電設備の適正な設置・運営・廃棄による暮らしと自然環境の保全に関する条例」案を作成しました。その後、この案で市とやり取りしたり、市の条例案に対してパブコメしたりしました。「可児市太陽光発電事業と地域の調和に関する条例」は2020年12月に条例が施行されました。

市太陽光発電条例や改訂された資源エネルギー庁「事業計画策定ガイドライン（太陽光発電）」、環境省「環境配慮ガイドライン」などの遵守を柱にした協定書のやり取りを、先の事例の東側に計画されている事業者と2021年1月から協議を行っています。この櫻ヶ丘内の太陽光発電事業計画は、敷地面積が39,612.40m<sup>2</sup>、出力が2,651.67kw、太陽光パネルは7,686枚です。

②湧水湿地群の保全をめぐっては、自治連の協力のもとで、個人加盟の「大森奥山湿地群を守る会」が2019年11月に作られ、月1回のモニタリングや「守る会だより」の発行、リーフレットづくり、環境学習としての散策道・観察道づくりなど、精力的な取り組みが行なわれています。

#### <（可児市）団地交流懇談会活動>

先進地域の見学会などを予定していましたが、コロナ禍のために実施できませんでした。今年度も引き続き可児市からのまちづくり活動助成金（スタート助成）を得ることができました。新たに若いメンバーも加わり、6月から2月まで計7回の懇談会を、毎回10名前後の参加で開催しました。会では、各団地における活動の交流の他、今年度は移動支援の取り組みを重点的に取り上げました。高齢化が進む団地住民の足は自動車を中心となりますが、公的な移動手段としては、鉄道（名鉄）、公共交通（路線バスなど）、コミュニティバス、あるいはタクシーがあります。公的交通を補完するために、住民のボランティア活動による移動支援は、先進的団地（若葉台、桜ヶ丘ハイツ）で実施されています。住民の生活行動を支える足の確保は、郊外団地住民の継続的な居住には欠かせませんが、団地によってサービス状況には大きな差があります。

会では、各団地における足の確保・移動支援の現状報告と意見交換（6月、7月）、可児市「地域公共交通計画」の学習、担当課職員に会に来てもらい、現状・課題、対応状況、先進事例などについて学びました（10月、11月）。これらを踏まえて、コミュニティバスの改善案を参加メンバーから提案してもらいました。さらに、美濃加茂市と東浦町の担当課職員に参加してもらい、説明を受け意見交換しました（12月）。

なお、次年度も可児市からの活動助成金を得たいと考えていますが、活動内容をより実践的なものにしていく必要があります。当面、これまでの活動のまとめとこれからの方針を中間報告としてまとめ、議論していくこととしています。

なお、同会のホームページで活動を紹介しています：  
<https://kanidanchi.web.fc2.com/>

#### (2) 住宅再生部会

【委員：村上心（部会長）、川野紀江（幹事）、研究者・行政・民間30名程度】

活動なし

#### (3) 公共住宅部会

【委員：松山明（部会長）、林直孝（幹事）、研究者・行政・民間20名程度】

・12/2（水）錦二丁目エリアマネジメントについて  
名畠 恵：錦二丁目エリアマネージメント㈱ 代表取締役  
森田 純圭：錦二丁目エリアマネージメント㈱ 企画マネージャー

（参加者：11名）

#### (4) 住宅リフォーム産業部会

【委員：高井宏之（部会長）、小川、小野、大崎、尾崎、谷村、他4名】

活動なし

（関西支部）

・関西支部 常議員会（8回開催）

2020年臨時 2020年5月2日（電磁的方法によるみな  
し決議）

関西支部支部長の選任：岡 絵里子

関西支部副支部長の指名：吉田 友彦

第1回常議員会 2020年5月22日（ZoomによるWeb会議）

第2回常議員会 2020年7月20日（ZoomによるWeb会議）

第3回常議員会 2020年8月19日（ZoomによるWeb会議）

第4回常議員会 2020年9月28日（ZoomによるWeb会議）

第5回常議員会 2020年10月20日（ZoomによるWeb会議）

第6回常議員会 2021年1月8日（ZoomによるWeb会議）

第7回常議員会 2021年3月11日（ZoomによるWeb会議）

#### [研究委員会の設置状況]

2020年度は4つの研究委員会が活動を継続するとともに、2つの研究委員会が発足

郊外・すまいと鉄道研究委員会

子育て支援住環境研究委員会

団地における3公連携研究委員会

タワーマンション研究委員会

（発足）集合住宅における私有公開空間研究委員会

（発足）在日外国人の住まい・コミュニティ研究委員会

#### [郊外・すまいと鉄道研究委員会]

研究会開催：これまでの研究成果をもとにして、書籍として取りまとめる取り組みをしている

2020年5月4日 Zoom会議

2020年6月27日～28日 合宿・出版に向けた原稿作成について（合宿先：神戸市北区の民間研修施設）

2020年11月5日 Zoom会議

2020年12月8日 Zoom会議

2021年3月22日 出版社に出稿

2021年3月をもって終了。

#### [子育て支援住環境研究委員会]

2020年4月18日 Zoom会議

関西支部総会とあわせたシンポジウム企画「子育て支援から考える家族・コミュニティのカタチ（仮）」の準備を進めていたが、詩型コロナの影響による総会の限定開催に伴い中止となった。

2020年9月3日 2020年度第1回研究会を開催した(Zoom)。  
今年度内の取りまとめを予定している報告書の内容について議論した。ウィズコロナ、ポストコロナの子育て住環境や住情報に関する内容や調査のアイデアについても各自進めていくことを確認した。

2021年1月28日 Zoom会議

#### [団地における3公連携研究委員会]

2020年8月7日 研究会をZoomで開催。郊外居住の価値の発信、団地のオープンスペースを介した3公連携、健康に暮らすことのできる住戸計画について検討。

2020年10月8日 第2回の研究委員会をZoomで開催。

2021年2月15日 UR団地における地域医療福祉拠点化事業に関する研究会を開催した(Zoom)。

2021年3月3日 関西における住宅供給公社による団地再生事業に関する研究会の開催

#### [タワーマンション研究委員会]

2020年4月27日 第28回タワーマンション研究会を実施。

2020年5月29日 第29回タワーマンション研究会を実施。

2020年6月22日 第30回タワーマンション研究会をZoomで実施。

この間、タワーマンションの設計者(5名)にヒアリングを実施。

2020年7月31日 第31回タワーマンション研究会を関西大学梅田キャンパスで実施。

2020年8月25日 第32回タワーマンション研究会をZoomで実施。

2020年9月29日 第33回タワーマンション研究会を関西大学梅田キャンパスで実施。

2020年11月13日 第34回タワーマンション研究会を大正区で実施。

2021年3月末をもって終了。

#### [集合住宅における私有公開空間研究委員会]

2020年7月20日 常議員会承認

2020年11月11日 キックオフミーティングを開催。各委員の私有公開空地に対する知見の共有及び今後の進め方の整理

#### [在日外国人の住まい・コミュニティ研究委員会]

2020年7月20日 常議員会承認

2021年2月3日 在日中国人高齢者(中国残留孤児)の支援を行うNPO法人にヒアリング・施設見学  
2021年3月9日 在日ベトナム人コミュニティの視察およびそれを支援するNPO法人にヒアリング

#### ・2020学生研究発表交流会

2020年9月26日 ZoomによるWeb会議

参加: 23名 (発表学生: 8名)

#### ・本部関連

全国大会

公益社団法人都市住宅学会大会第28回学術講演会

日時: 11月28日、29日

方法: Zoom開催(運営、関西支部)

#### (中国・四国支部)

##### ・中国・四国支部 常議員会(5回開催)

第1回常議員会 2020年4月18日(電子的方法による)

第2回常議員会 2020年6月1日(電子的方法による)

第3回常議員会 2020年6月26日(電子的方法による)

第4回常議員会 2020年10月6日(電子的方法による)

第5回常議員会 2021年3月22日(電子的方法による)

#### (九州支部)

##### ・九州支部 常議員会(3回開催)

第1回常議員会 2020年4月11日

第2回常議員会 2021年2月9日

第3回常議員会 2021年3月8日

#### ・常議員通信

第1回通信 2021年1月14日

第2回通信 2021年1月20日

第3回通信 2021年2月9日

第4回通信 2021年2月12日

第5回通信 2021年2月27日

第6回通信 2021年3月2日

第7回通信 2021年3月7日

第8回通信 2021年3月9日

#### ・学生表彰委員会(1回開催)

第1回委員会 2021年3月8日

## 事業報告附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項として記載すべき事項は、特にありません。

以上

都市住宅学会・2020年度貸借対照表  
2021年3月31日現在

(単位:円)

科目	2020年度	2019年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金	153,276	103,967	49,309
普通・郵便預貯金	8,980,940	4,934,062	4,046,878
定期預金	15,116,470	15,116,470	0
未収金	5,864,520	13,473,500	△ 7,608,980
前払金	0	0	0
立替金	0	0	0
<b>流動資産合計</b>	<b>30,115,206</b>	<b>33,627,999</b>	△ 3,512,793
<b>2. 固定資産</b>			
<b>(1) 基本財産</b>			
定期預金	30,368,125	30,368,125	0
<b>基本財産合計</b>	<b>30,368,125</b>	<b>30,368,125</b>	0
<b>(2) 特定資産</b>			
定期預金	45,126,259	45,126,259	0
<b>特定資産合計</b>	<b>45,126,259</b>	<b>45,126,259</b>	0
<b>固定資産合計</b>	<b>75,494,384</b>	<b>75,494,384</b>	0
<b>資産合計</b>	<b>105,609,590</b>	<b>109,122,383</b>	△ 3,512,793
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	3,338,891	8,879,252	△ 5,540,361
前受金	1,094,000	2,280,000	△ 1,186,000
預り金	330,129	268,046	62,083
<b>流動負債合計</b>	<b>4,763,020</b>	<b>11,427,298</b>	△ 6,664,278
<b>2. 固定負債</b>			
退職給付引当金	0	0	0
<b>固定負債合計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	0
<b>負債合計</b>	<b>4,763,020</b>	<b>11,427,298</b>	△ 6,664,278
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
補助金	0	0	0
寄付金	0	0	0
<b>指定正味財産合計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
<b>2. 一般正味財産</b>			
(うち基本財産への充当額)	100,846,570	97,695,085	3,151,485
(うち特定資産への充当額)	(30,368,125)	(30,368,125)	(0)
<b>正味財産合計</b>	<b>(45,126,259)</b>	<b>(41,126,259)</b>	(4,000,000)
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>100,846,570</b>	<b>97,695,085</b>	3,151,485
	<b>105,609,590</b>	<b>109,122,383</b>	△ 3,512,793

## 都市住宅学会・附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産について、財務諸表の対する注記4に記載をしているので、内容を省略する。

### 2. 引当金の明細

該当ありません。

都市住宅学会・2020年度正味財産増減計算書  
2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位:円)

科目 大科目 中科目	2020年度	2019年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の分			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用収入 基本財産利息収入	2,839	3,035	△ 196
② 特定資産運用益(利息収入) 定期預金利息収入	522	4,076	△ 3,554
③ 受取入会金 入会金収入	42,000	69,000	△ 27,000
④ 会費収入 正会員・準会員 賛助会員	12,659,945	13,613,610	△ 953,665
⑤ 事業収入 研究受託収入 事務受託収入 支部研究受託収入 支部交付金	5,760,000	15,116,000	△ 9,356,000
⑥ 受取補助金等 補助金等収入 研究成果公開促進費	0	0	0
⑦ 受取寄付金 指定寄付金 一般寄付金	14,790	26,204	△ 11,414
⑧ 雑収益 受取利息 雑収入	2,663,265	2,007,390	655,875
経常収益計	21,143,361	30,839,315	△ 9,695,954
(2) 経常費用			
① 事業費支出 給与手当 臨時雇賃金 福利厚生費 会議費 旅費交通費 通信運搬費 消耗品費 印刷製本費 論文集発行費 賃借料 諸謝金 租税公課 研究委託費 事務委託費 秋季全国大会費 シンポジウム費 研究成果公開促進費 基盤研究費(間接経費) 国際交流費 事業費予備費 図書購入費 雑費	13,471,739	22,842,663	△ 9,370,924
② 管理費支出 給与手当 臨時雇賃金 福利厚生費 会議費 旅費交通費 通信運搬費 消耗品費 印刷製本費 賃借料 諸謝金 租税公課 研究委託費 事務委託費 総務費 図書購入費 雑費 雑損	4,520,137	6,754,857	△ 2,234,720
経常費用計	17,991,876	29,597,520	△ 11,605,644
当期経常増減額	3,151,485	1,241,795	1,909,690
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,151,485	1,241,795	1,909,690
一般正味財産期首残高	97,695,085	96,453,290	1,241,795
一般正味財産期末残高	100,846,570	97,695,085	3,151,485
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
1. 受取寄付金	0	0	0
2. 一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	100,846,570	97,695,085	3,151,485

都市住宅学会・2020年度正味財産増減計算書(内訳表)  
2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位:円)

科目 大科目 中科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の分				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用収入 基本財産利息収入	2,839	0	0	2,839
② 特定資産運用益(利息収入) 定期預金利息収入	0	522	0	522
③ 受取入会金 入会金収入	29,400	12,600	0	42,000
④ 会費収入 正会員・準会員 賛助会員	6,962,970 6,225,970 737,000	5,696,975 5,093,975 603,000	0 0 0	12,659,945 11,319,945 1,340,000
⑤ 事業収入 研究受託収入 事務受託収入 支部研究受託収入 支部交付金	4,032,000 3,500,000 532,000 0 0	1,728,000 1,500,000 228,000 0 0	0 0 0 0 0	5,760,000 5,000,000 760,000 0 0
⑥ 受取補助金等 補助金等収入 研究成果公開促進費	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0
⑦ 受取寄付金 指定寄付金 一般寄付金	0 0 0	14,790 0 14,790	0 0 0	14,790 0 14,790
⑧ 雑収益 受取利息 雑収入	1,864,286 2,014 1,862,272	798,979 863 798,116	0 0 0	2,663,265 2,877 2,660,388
経常収益計	12,891,495	8,251,866	0	21,143,361
(2) 経常費用				
① 事業費支出 給与手当 臨時雇賃金 福利厚生費 会議費 旅費交通費 通信運搬費 消耗品費 印刷製本費 論文集発行費 賃借料 諸謝金 租税公課 研究委託費 事務委託費 秋季全国大会費 シンポジウム費 研究成果公開促進費 基盤研究費(間接経費) 国際交流費 事業費予備費 図書購入費 雑費	13,471,739 3,145,202 42,000 140,806 54,760 47,805 143,385 252,654 125,474 2,402,486 1,333,760 660,274 428,925 3,247,749 431,200 276,366 194,790 0 0 200,000 0 86,000 258,103	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	13,471,739 3,145,202 42,000 140,806 54,760 47,805 143,385 252,654 125,474 2,402,486 1,333,760 660,274 428,925 3,247,749 431,200 276,366 194,790 0 0 200,000 0 86,000 258,103
② 管理費支出 給与手当 臨時雇賃金 福利厚生費 会議費 旅費交通費 通信運搬費 消耗品費 印刷製本費 賃借料 諸謝金 租税公課 研究委託費 事務委託費 総務費 図書購入費 雑費 雑損	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	4,520,137 1,347,944 18,000 60,346 23,468 20,488 61,452 108,280 57,672 571,611 0 1,391,893 184,800 357,619 0 109,956 22,783	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	4,520,137 1,347,944 18,000 60,346 23,468 20,488 61,452 108,280 57,672 571,611 0 1,391,893 184,800 357,619 0 109,956 22,783
経常費用計	13,471,739	4,520,137	0	17,991,876
当期経常増減額	△ 580,244	3,731,729	0	3,151,485
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 580,244	3,731,729	0	3,151,485
一般正味財産期首残高	39,770,031	57,925,054	0	97,695,085
一般正味財産期末残高	39,189,787	61,656,783	0	100,846,570
II 指定正味財産増減の部				
1. 受取寄付金	0	0	0	0
2. 一般正味財産への振替額	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高				
	39,189,787	61,656,783	0	100,846,570

都市住宅学会・財務諸表に対する注記（案）  
2021年3月31日現在 公益社団法人都市住宅学会

**1. 継続事業の前提に関する注記**

継続事業の前提が適切であるかどうかを総合的に評価した結果、貸借対照表において、  
単独で又は複合して継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況は存在しません。

**2. 重要な会計方針**

平成20年度基準を採用しております。

(1)消費税等の会計処理

税込み方式

(2)支部運転資金の流動資産化

2013年度の公益社団法人移行に伴い、従来、特定資産としていた支部の運転資金を  
流動資産に移行したため、前期繰越収支差額(流動資産の期首残高)に計上済み。

**3. 会計方針の変更**

2013年度決算から平成20年度会計基準を採用しました。

**4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高**

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	30,368,125	0	0	30,368,125
小計	30,368,125	0	0	30,368,125
特定資産				
運営基金	45,126,259	0	0	45,126,259
小計	45,126,259	0	0	45,126,259
合計	75,494,384	0	0	75,494,384

**5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳**

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	30,368,125	(0)	(30,368,125)	(0)
小計	30,368,125	0	30,368,125	0
特定資産				
運営基金	45,126,259	(0)	(45,126,259)	(0)
小計	45,126,259	0	(45,126,259)	(0)
合計	75,494,384	0	(75,494,384)	0

**6. 担保に供している資産**

ありません。

**7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高**

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次の通りである

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	5,864,520	0	5,864,520
立替金	0	0	0
合計	5,864,520	0	5,864,520

**8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高**

該当ありません。

**9. 基金及び代替基金の増減額及びその残高**

該当ありません。

**10. 関連当事者との取引内容**

ありません。

**11. 重要な後発事象**

ありません。

## 都市住宅学会・附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産について、財務諸表の対する注記4に記載をしているので、内容を省略する。

### 2. 引当金の明細

該当ありません。

**財産目録**  
2021年3月31日現在

科 目	内 訳		合計
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			(24, 250, 686)
現金			153, 276
ゆうちょ銀行	千代田区飯田橋郵便局（振替）	運転資金として	2, 565, 364
千代田区飯田橋郵便局（普通）		運転資金として	242, 795
普通預金	三菱東京UFJ銀行麹町支店	運転資金として	3, 753, 600
	みずほ銀行麹町支店	運転資金として	4, 055
	三井住友銀行麹町支店	運転資金として	4, 151
	三菱UFJ信託銀行本店	運転資金として	13, 388
	七十七銀行本店営業部	運転資金として	116, 827
	三菱東京UFJ銀行栄町支店	運転資金として	483, 839
	りそな銀行北浜支店	運転資金として	290, 350
	みずほ銀行広島支店	運転資金として	934, 357
	西日本シティ銀行箱崎支店	運転資金として	572, 214
	千代田区飯田橋郵便局（定期）	運転資金として	100, 000
	三菱東京UFJ銀行麹町支店	運転資金として	12, 000, 000
	三菱東京UFJ銀行麹町支店	運転資金として	3, 016, 470
未収金			(5, 864, 520)
未収金		日本政策投資銀行 委託費	2, 000, 000
前払金		科研費 間接経費	3, 364, 500
立替金		関東支部 事務管理費	500, 000
仮払金		関東支部 差額	20
流動資産合計			0
			0
			0
2 固定資産			
基本財産			
定期預金	みずほ銀行麹町支店定期預金	公益目的保有財産であり運用益を公益事業の財源として使用	(30, 368, 125)
	三井住友銀行麹町支店定期預金	公益目的保有財産であり運用益を公益事業の財源として使用	10, 105, 542
	三菱UFJ信託銀行本店定期預金	公益目的保有財産であり運用益を公益事業の財源として使用	10, 137, 865
特定資産			(45, 126, 259)
定期預金	三菱東京UFJ銀行麹町支店定期預金	公益目的事業に必要なその他の業務の用に供する財産であり運用益を管理費の財源として使用	45, 126, 259
固定資産合計			75, 494, 384
資産合計			105, 609, 590
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			(3, 338, 891)
	その他事業費 本部	社会空間研究所 再委託費	1, 100, 000
	その他事業費 本部	日本政策投資銀行謝金	1, 000, 000
	その他事業費 本部	2019年度消費税	610, 500
	その他事業費 本部	謝金不足分	391
	その他事業費 関東支部	本部への関東支部事務委託費	500, 000
	その他事業費 関東支部	交流研究の原稿執筆謝金	20, 000
	その他事業費 関東支部	シンポジウムパネリスト謝金	22, 000
	その他事業費 関東支部	図書券購入費	86, 000
前受金	2021・2022年度年会費		1, 094, 000 (330, 129)
預り金	源泉所得税等	報酬税および職員の所得税・社会保険料	330, 129
流動負債合計			4, 763, 020
負債合計			4, 763, 020
正味財産			100, 846, 570

---

**差出人:** 井出@成蹊大学 [REDACTED]  
**送信日時:** 2021年4月26日月曜日 12:29  
**宛先:** 都市住宅学会事務局  
**C C:** [REDACTED]  
**件名:** Re:【重要:至急ご確認のお願い】都市住宅学会 2020年度事業報告案および決算案 監査のお願い  
(4月28日17時まで)

事務局各位

資料ありがとうございます。拝見しましたので、報告書をお送りします。

井出

(監査報告書:下記にご記名いただき、ご返信をお願い申し上げます。)

\*\*\*\*\*

### 監査報告書

公益社団法人都市住宅学会

会長 高田光雄 殿

2021年4月26日

監事(井出多加子)

私は、公益社団法人都市住宅学会の2020年4月1日から2021年3月31日までの2020年度の

事業及び会計について監査を実施しました。

その結果につき、次のとおり報告します。

#### 1. 監査方法の概要

監事は、理事会に出席するほか、当学会の関係者から事業の報告を聴取し、重要な書類の回付を受け、その事業及び財産の状況を調査しました。

また、当学会の関係者から報告並びに説明を受け、事業報告書、事業報告附属明細書及び決算報告書について監査を実施しました。

## 2. 監査の結果

### 2. 1 事業監査の結果

(1) 当学会の事業については、法令及び当学会の年度計画、事業計画等に基づき、適正に運営されており、不正及び誤謬並びに違法行為の重大な事実は認められません。

(2) 事業報告書は、当学会の事業運営の状況を正しく示しているものと認めます。

### 2. 2 会計監査の結果

決算報告書は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して

当学会の決算報告書に係る財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において正しく示しているものと認めます。

以上

---

**差出人:** Kaori ITO [REDACTED]  
**送信日時:** 2021年4月28日水曜日 18:47  
**宛先:** 都市住宅学会事務局  
**件名:** Re:【重要:至急ご確認のお願い】都市住宅学会 2020年度事業報告案および決算案 監査のお願い  
(4月28日17時まで)

ご担当者様

標記について、以下の通り回答いたします。

伊藤

\*\*\*\*\*

### 監査報告書

公益社団法人都市住宅学会

会長 高田光雄 殿

2021年4月28日（←日付記入お願いします）

監事（伊藤香織）（←ご氏名の記入をお願いします）

私は、公益社団法人都市住宅学会の2020年4月1日から2021年3月31日までの2020年度の事業及び会計について監査を実施しました。

その結果につき、次のとおり報告します。

## 1. 監査方法の概要

監事は、理事会に出席するほか、当学会の関係者から事業の報告を聴取し、重要な書類の回付を受け、その事業及び財産の状況を調査しました。

また、当学会の関係者から報告並びに説明を受け、事業報告書、事業報告附属明細書及び決算報告書について監査を実施しました。

## 2. 監査の結果

### 2. 1 事業監査の結果

(1) 当学会の事業については、法令及び当学会の年度計画、事業計画等に基づき、適正に運営されており、不正及び誤謬並びに違法行為の重大な事実は認められません。

(2) 事業報告書は、当学会の事業運営の状況を正しく示しているものと認めます。

### 2. 2 会計監査の結果

決算報告書は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して当学会の決算報告書に係る財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において正しく示しているものと認めます。

以上

\*\*\*\*\*

ITO, Kaori



Professor, Department of Architecture

Faculty of Science and Technology

Tokyo University of Science

\*\*\*\*\*